

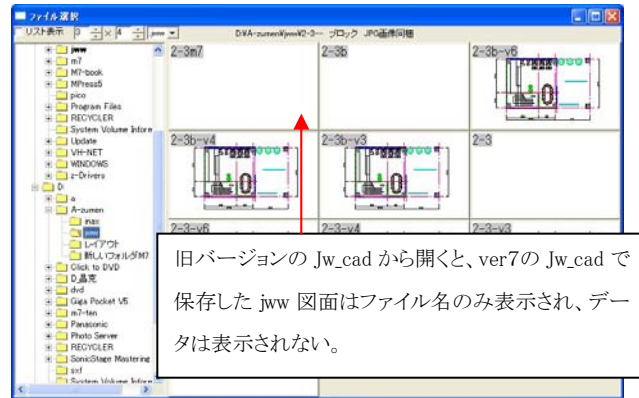
# Jw\_cad ver7.02

ver6.21a からの主なバージョンアップポイント

## 重要 jww 図面のデータ形式が変更されました

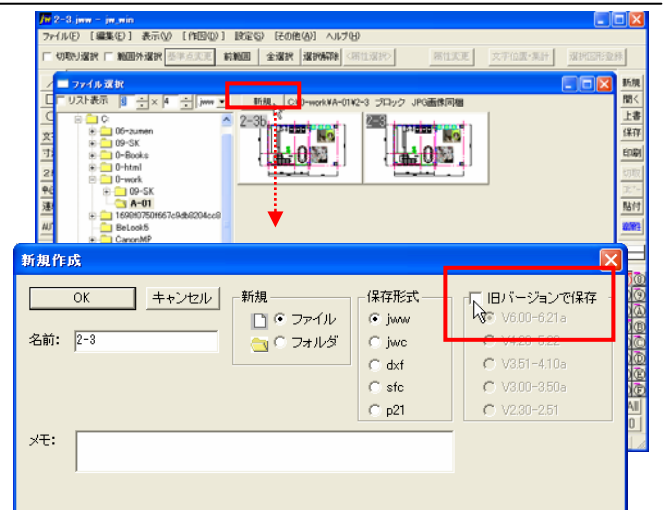
ver6.21a 以前の Jw\_cad に図面ファイルを渡す場合や jww 図面ファイルの読込に対応している他 CAD に jww 図面ファイルを渡す場合に注意が必要です。

Jw\_cad ver7.00 から jww 図面のデータ形式が変更されました。そのため、ver7.00 以降の Jw\_cad で保存した jww 図面ファイルは、ver6.21a 以前の旧バージョンの Jw\_cad で開くことができません。Ver6.21a 以前の Jw\_cad、jww 図面の読込に対応した他 CAD に jww 図面ファイルを渡す場合は、旧バージョン形式での保存を行ってください。



## ■旧バージョン形式での保存方法■

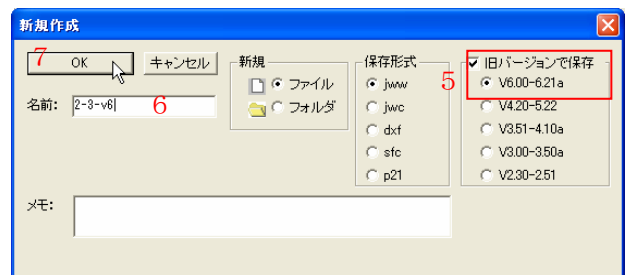
- ①旧バージョン形式で保存する図面を開く。
- ②「保存」コマンド(またはメニューバー[ファイル]—「名前を付けて保存」)を選択。
- ③表示される「ファイルの選択」ダイアログで保存場所フォルダを選択し、「新規」ボタンを
- ④「新規作成」ダイアログの「旧バージョンで保存」を



- ⑤先方の Jw\_cad のバージョンに合わせ、保存するバージョン(右図は v.6.00~v6.21a)を
- ⑥「名前」ボックスに名前を入力。

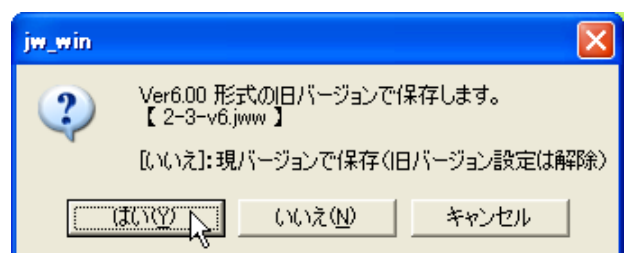
**CHECK** 開いた図面ファイルと同じ名前前で同じフォルダに保存した場合、旧バージョン形式で上書きされるため、「名前」は元の図面ファイルとは異なる名前を入力します。

- ⑦「OK」ボタンを



- ⑧旧バージョン保存のメッセージが表示されるので「はい」ボタンを

**CHECK** 旧バージョン形式で保存する場合、そのバージョン時に無いデータは正しく保存されません。また、Jw\_cad を終了させるまでは「新規作成」ダイアログの「旧バージョンでの保存」のチェックは有効になっているのでご注意ください。



## Point1 挿入した画像ファイルを Jww ファイルの一部として




保存できるようになりました

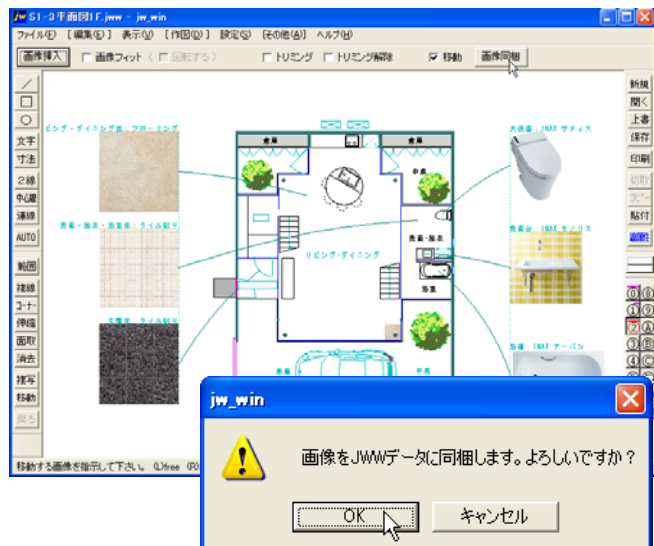
ver6.20a 以前の Jw\_cad では、画像は jww 図面ファイルと共に保存されませんでした。

そのため、画像を挿入した図面ファイルを他所へ渡すには、画像ファイルの参照に関する記述を書き換え、jww 図面ファイルと共に挿入元の画像ファイルを渡す必要がありました。また、BMP 以外の画像を挿入した図面の場合、図面ファイルを渡す先の Jw\_cad で BMP 以外の画像を扱えるよう設定がされていないと画像を表示することができませんでした。


Ver7.00 以降では、「画像同梱」の指定を行うことで、jww 図面ファイルと共に画像ファイルを保存することが可能になりました。これにより、「画像同梱」の指定をした jww 図面ファイルを渡すだけで、他所の Jw\_cad (但し ver7以降) で図面ファイルを開いた際に画像も表示されます。

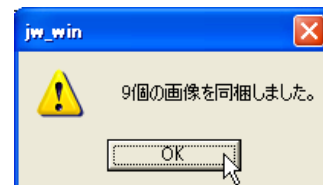
### ■ 画像を jww ファイルと共に保存するための方法 ■

- ①図面ファイルに画像を挿入する。
- ②図面を保存する前に、メニューバー [編集] - 「画像編集」を選択し、コントロールバー「画像同梱」ボタンを 。
- ③「画像を JWW データに同梱します。よろしいですか？」とメッセージウィンドウが表示されるので「OK」ボタンを 。
- ④「〇個の画像を同梱しました」とメッセージウィンドウが表示されるので「OK」ボタンを 。
- ⑤jww 図面を保存(または上書き保存)する。



以上で完了です。図面に挿入した画像が jww 図面ファイルに保存されます。

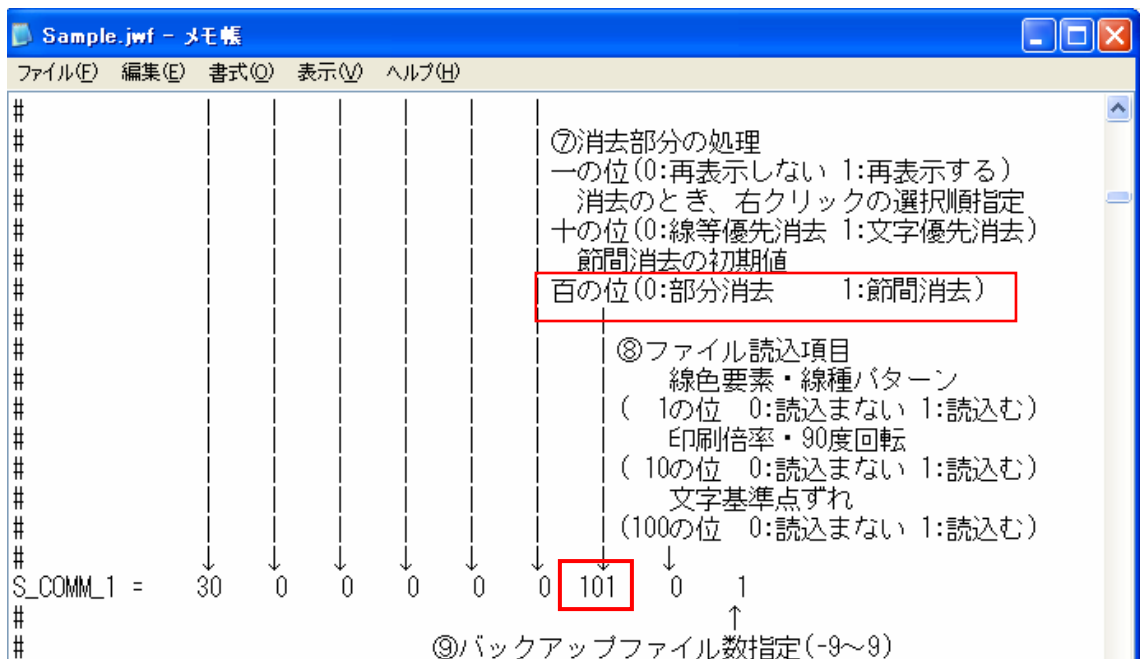
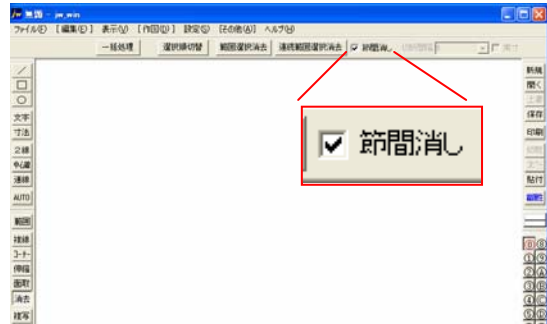
**CHECK** 新しく画像を追加した場合には、保存前に再度、「画像同梱」ボタンを  してください。



**注意** 画像同梱を行った図面を旧バージョン形式で保存した場合、画像が正しく表示されるようには保存されません。また、画像同梱を解除する機能はありません。旧バージョンでの受け渡しを行う図面では、画像同梱はしないで下さい。

**Point2** 「消去」コマンドの節間消去の初期値を環境設定ファイルで設定できるようにした。(SAMPLE.JWF「S\_COMM\_1」の⑦参照)

ver6.10 で追加された「消去」コマンドのコントロールバー「節間消し」のチェックの有無の指定を環境設定ファイルで設定できるようになりました。

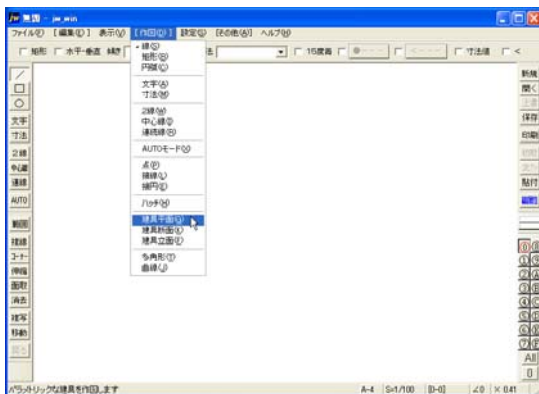


上図枠囲み部の指定「101」の百の位の「1」が、「消去」コマンドのコントロールバー「節間消し」のチェックを付ける指定です。

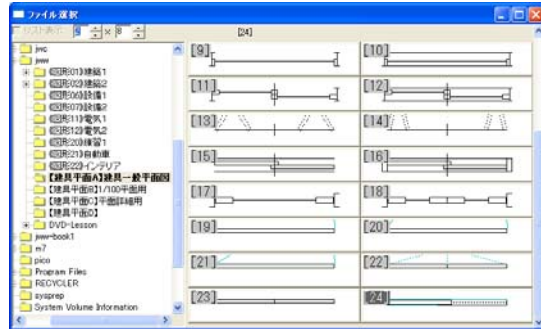
## その他

### ● 建具データ(JW\_OPT1.DAT,JW\_OPT3.DAT)を変更

メニューバー[作図]－「建具平面」の「【建具平面】建具一般・・・」と、[作図]－「建具立面」の「【建具立面 A】」のデータが変更されました。



### ▼ 「建具平面」



### ▼ 「建具立面」



### ● 図形データ《図形 01》建築1《図形 02》建築2を一部追加

メニューバー[その他]－「図形」の「《図形 01》建築1」と「《図形 02》建築 2」フォルダに図形が追加されました。



● 天空率の三斜計算の少数点以下3桁の丸めを「基準建物の場合は切上げ」、「計画建物の場合は切捨て」とした。

- ◆Version 7.02 での変更点は以下のとおりです。(2010/02/14)
  - ・画像同梱の際、BMP ファイルを元の形式のまま保存するようにした。
  - ・ファイル保存のとき同梱されていない画像がある場合、注意のメッセージを表示するようにした。
- ◆Version 7.01 (2010/02/07)
  - ・起動時における関連付けのチェック方法および修正方法を変更した。
  - ・連線コマンドで始点が円上点で次が終点の円上点の場合に正しく線が作図されないバグをフィックスした (Ver.7.00 で発生)。
- ◆Version 7.00b (2010/01/09)
  - ・ブロックデータの保存形式を従前と同じくした。
- ◆Version 7.00a での変更点は以下のとおりです。(2010/01/02)
  - ・画像同梱データをブロック化したとき、画像データが保存されないバグをフィックスした。
- ◆Version 7.00 での変更点は以下のとおりです。(2010/01/01)
  - ・画像同梱について、画像を圧縮して保存するようにした。
  - ・多重ブロックをブロック編集すると、ブロック化の構成がばらばらになってしまうバグをフィックスした。
- ◆Version 7.00 β 2 での変更点は以下のとおりです。(2009/11/29)
  - ・画像同梱について、保存画像の形式を[bmp]形式に統一した。
  - ・画像を同梱すると、書き込みレイヤにすべて移動してしまうバグをフィックスした。
  - ・旧バージョンでの保存をすると、一つ古いバージョンで保存されてしまうバグをフィックスした。
  - ・「名前を付けて保存」でのファイル選択画面で、「Enter」キーを押すと「パラメーターが間違っています」とのメッセージが出る現象を回避した(「名前を付けて保存」ダイアログへの移行については、検討中。)
  - ・ヘルプファイルのリンク切れの一部を修正中した。
- ◆Version 7.00 β での変更点は以下のとおりです。(2009/11/21)
  - ・画像ファイルを Jww ファイルの一部として保存できるようにした。  
(画像コマンド→[画像同梱]ボタン)
  - ・節間消去の初期値を環境設定ファイルで設定できるようにした。  
(SAMPLE.JWF「S\_COMM\_1」の⑦参照)
  - ・天空率の三斜計算の少数点以下3桁の丸めを「基準建物の場合は切上げ」、「計画建物の場合は切捨て」とした。
  - ・建具データ(JW\_OPT1.DAT,JW\_OPT3.DAT)を変更した。
  - ・図形データ《図形 01》建築1《図形 02》建築2を一部追加した。